

令和3年度高砂市スポーツ推進会議 議事概要

(1) 令和2年度の取組（事業）の進捗管理評価について

委員

- ・事業が中止になる経緯を教えてください。また、外部からの意見や要望で事業を中止せざるを得ない状況になったことはあるか教えてください。

事務局

事業の中止は主催者が判断している。判断の参考として高砂市新型コロナウイルス感染症にかかる対処方針を事業の主催者に情報提供している。また、市が主催した事業で中止すべきであると意見をいただいたことはない。体育施設について、感染者が増加している状況では閉館すべきではないかとの意見をいただいたことはあるが、緊急事態宣言の発令等で施設の閉館や営業時間を短縮している期間には通常通りの営業を望む意見のほうが多かった。

委員

- ・アクションプランに記載のある事業は実施が必要なものが多く、次年度以降の実施に向け、中止原因の特定をするために経緯を質問した。
- ・スポーツ推進委員会ではファミリーバドミントン大会やスーパードライブ大会を開催している。ファミリーバドミントン大会はコートが広いこともあり、感染症対策ができると判断して開催した。一方、スーパードライブ大会は卓球をアレンジした競技であり、卓球により感染したというニュースがあったため中止した。クラスターが発生した場合、主催者の責が問われるため、ニュースや新聞などのマスコミからの情報も加味して判断している。
- ・スポーツクラブ21は令和2年度事業の多くを中止したが、令和3年度の県主催事業の多くは開催されている。しかし、県主催事業に参加していない市町もあり、各市町で対応に違いが見受けられる。新たな株の新型コロナウイルスが猛威を振るっているが、感染者数の減少とともに改善されると考えている。令和2年度に比べ、令和3年度は多くの事業を開催した。令和4年度以降はさらに開催できる事業が増えると考えている。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの事業を中止したことは仕方がないが、オンラインでできることがあると考える。少しでも何かやりたい方がいた場合、オンラインなどでのサポートができる体制づくりには取り組んでいるか。

事務局

令和2年度に中止した体力測定会、ニュースポーツ体験会、高砂マラソンは合同の代替イベント（にこにこスポーツチャレンジ）を開催した。また、市が主催する事業の開催日に感染が拡大している場合は、開催を延期し、感染者数が減少している時期に開催することとしている。

オンラインでの事業について、高齢者の方などでインターネット環境がない方もいるため、公平性が確保できない可能性がある。感染状況がさらに拡大した場合にはオンラインでの事業の検討も必要であると考えている。

委員

- ・公平性の確保も重要であるが、一部の人だけでもできる方がよいのではないかと考える。新型コロナウイルス感染症の感染拡大終息後に通常の事業と並行して行うことも価値があると考え、オンラインについての質問をした。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が始まった初年度であるため、令和2年度の事業が中止されているのは仕方がない。外に出歩く機会が少なくなり、体力低下や肥満、認知機能の低下が心配される声もある。そのため、全部中止するのではなく、工夫や感染症対策を行い、事業を実施していくことが重要である。次年度以降にアクションプランの評価欄に中止の評価が少なくなることを願う。
- ・昨年開催された東京パラリンピックの影響でボッチャの人气が高まった。そのため、市内の中学校でボッチャの体験会を行った。今後も普及活動に努めていく。高砂市は障がい者スポーツの活動や体験会が少ない。東播磨地域では高砂市より活発に活動している地域もある。
- ・スポーツができて当たり前の生活が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により一変した。アクションプランを見た際に、コロナ禍でも開催している事業があり驚き、スポーツができていた日常が当たり前のものではなく、特別な日々であったことを実感した。これまではずっとやってきたが、休む時期があってもいいのではないかと考えている。近い将来に従来と同様にスポーツができる日がくるはずである。